

これでいいのか!?

都心上空低空飛行の撤回を

飛行ルート

羽田の

国土交通省は8月8日、来年3月29日より羽田空港において国際線を増便することを発表しました。

今回の計画では、板橋区上空を高度1220メートルという低空で、午後3時から7時まで最大で2分に1回通過するもので、大変危険です。さらに騒音も、幹線道路や騒々しい街頭と同じレベルになり、おだやかに暮らせる状況ではなくなってしまいます。これまで区は「落下事故等を徹底調査し、原因を究明すること」「安全対策を強化し、再発防止に努めること」など、要望をしてきました。渋谷・品川では区議会で「見直しを強く求める」「容認できない」などとする意見書があげられています。

国土交通省は「地元の理解を得て進める」と答弁してきましたが、理解は得られていません。

第2回定例会で出された「ルートを見直すよう国に意見書を出して」という陳情は、自民・公明などの反対で否決されました。首都圏の国際競争力強化や訪日外国人旅行者の受入れを優先し、住民のくらしと安全をおろそかにすることは許されません。今すぐ計画を撤回すべきです。

党区議団は、区民の不安解消のないまま計画をすすめるべきではないと7月29日に緊急申し入れを行っています。引き続きみなさんと一緒に、運動を強めていきます。

撮影：ジャーナリスト
松橋隆司

もっと保育士さんの増員を！

認可保育所死亡事故で提言

板橋区内の認可保育所で2016年9月に起きた0歳児の午睡中の死亡事故をめぐり、事故検証委員会による「検証報告書」が今年の8月30日に公開されました。

区が当初、検証委員会すら設置しないとするなかで、区議団は事故の直後から、検証委員会の設置、区民への公開、事故防止対策としての保育職員増員や研修費用の助成などを申し入れてきました。保育運動のみなさんの粘り強い働きかけもあり、2018年によく検証委員会がスタート。年度末には報告書がまとまりましたが、その公開はすぐにはされませんでした。そこで、区議団は今年の6月議会で報告書の公開を求めていました。

検証委員会は、医師、弁護士、保育関係者3人

の計5人で構成。計9回の聞き取りを開催し、「重大事故再発防止策の提言」をまとめています。

8月の閉会中の文教児童委員会では、事故当時、当該園では区が求める保育士配置基準が守られていなかったことがあきらかになりました。

子どもの命を守るために早急に提言の具体化を

さらに提言では「うつぶせ寝の危険性など睡眠時の呼吸等の確認について、その手法を明示すること」「重大事故が発生した場合に、速やかに検証が行われる仕組みを構築すること」「保育士の年齢別配置基準の見直しを行うこと」などの指摘がされています。保育士配置の引き上げをし、もっと保育士さんを増やさなければ子どもの命は守れ



(写真は本記事とは関係ありません。)

ないという提言です。区議団はこの提言を早急に具体化するよう、区に求めています。

いたばし元気帳

日本共産党板橋区議団ニュース

2019年秋号



ご意見・ご要望をお寄せください。

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋2-66-1 Tel3579-2717 Fax3579-2731

板橋 日本共産党 検索
inf@jcp-itabashi.gr.jp

●元気帳は無料です。申し込み先は、各区議事務所へ

日本共産党

